

公開講座一覧(平成25年度)

事業名	実施実績
<p>月例文化講座</p>	<p>年間テーマ:「現代日本の課題」            講師:現代日本社会学部 教員            会場:本学4号館431教室            &lt;講座名&gt; &lt;講師&gt;            ・現代日本学の課題 教授 新田 均            ・日本の医療が変わる 教授 山路克文            ・ひとごとですか、こころの病気と            こころの障害 准教授 榎本悠孝            ・経済自由主義・マルクス主義・経済            ナショナリズム 教授 山中 優            ～その現代日本にとっての意味～            ・社会臨床とまちづくり 教授 筒井琢磨            ・社会情報と人づくり 准教授 藤井恭子            ・神話から見る現代社会の課題 教授 橋本雅之            来場者:のべ285名</p>
<p>古文書講座 (9月～12月)</p>	<p>テーマ:「近世文書を読む!」            :「中世文書を読む!」            -伊勢山田八日市場をめぐる古文書-            来場者:のべ57名</p>
<p>神道博物館教養講座 (5月～11月)</p>	<p>年間テーマ:「伊勢の神宮を語るⅡ-日本文化の源流を考える-」            &lt;講座名&gt;            ・美し国の悠久の祈り ・悠久の伊勢神宮            ・旅にみるお伊勢参り ・御装束神宝と文様の美            来場者:のべ311名</p>
<p>史料編纂所 公開講座 (9月7日)</p>	<p>テーマ            I 藤原不比等の足跡-貴族の家のはじまり-            II 多賀城碑を読む-仲麻呂政権下の-史料-            III 藤原仲麻呂とその政治テーマ「近世文書を読む!」            来場者:40名</p>
<p>現代日本塾 (4月～11月)</p>	<p>&lt;講座名&gt;            ・夢や目標を持つ事で人は必ず良くなる-セールスマンからイチゴ            マンへ-脱サラし1から農家に転身した若者の等身大経営            ・これからの地域経済と求められる人材(財)像            ・住み慣れた地域で生活をつづけるために            -名張市地域包括支援センターでの取り組みから-            ・フランスの文化政策について            ・サンマリノ共和国と日本の文化との関係について            ・新渡戸稲造の『武士道』精神            ・高校生レストランの仕掛け人が語る「公務員にできること」            来場者:のべ805名</p>

事業名	実施実績
<p>研究開発推進センター 神道研究所公開学術講演会 (7月25日) 公開学術シンポジウム (11月14日)</p>	<p>テーマ:伊勢の式年遷宮 来場者:81名 テーマ:東アジア及び東南アジアにおける神仏習合・神仏関係 来場者:42名</p>
<p>共催講座</p>	<p>(1)三重大学・皇學館大学シンポジウム テーマ「ご遷宮とまちづくり」 ・戦国～江戸初期における伊勢のまちとご遷宮 ・遷宮を節目とする伊勢の現代まちづくり ・シンポジウム「ご遷宮とまちづくり」 来場者:150名</p> <p>(2)「みえアカデミックセミナー 2013」(三重県生涯学習センター主催) &lt;講座名&gt; ・近現代の伊勢神宮 「節旗」考—古代の大嘗祭御禊行幸— 来場者:のべ104名</p> <p>(3)名張市教育委員会と共催の「ふるさと講座」 &lt;講座名&gt; ・初瀬街道の旅人 —松阪から名張へ— ・お蔭参りを歩こう ～名張市一の鳥居から～ 来場者:184名</p> <p>(4)近鉄文化サロン阿倍野と本学共催講座 &lt;講座名&gt; ・神道と仏教—神社仏閣に見る神仏習合と神仏分離— ・『古事記』を読む(中巻) ・「伊勢の遷宮と心の蘇り」—建築ご神宝と遷宮諸祭— ・特別公開講座</p> <p>1)「遷宮シリーズ」 ①伊勢神宮と「天衣」伝承 —『愚昧記(ぐまいき)』 嘉応元年二月四日条— ②伊勢神宮苦難の時代 —神宮式年遷宮の中絶と再興— ③近世・近代の神宮式年遷宮—古儀復興と発展—</p> <p>2)特別公開講座 ①日本書紀—神武天皇東征— ②万葉の歌人—大伴坂上郎女— ③古文書を読もう(3)—式年遷宮の途絶と女房奉書を読む— ④明治維新の源流—高山彦九郎の生涯— ⑤日本書紀を読む—崇神天皇紀— ⑥万葉の歌人—但馬皇女と穗積皇子— ⑦古文書を読もう—北島頭家の最期— ⑧江戸時代の大名 ⑨明治維新の源流Ⅱ—蒲生君平と天皇陵 ⑩内丹—内なる錬金術と悟り—道教と禪宗の関係について— ⑪神道の作法と伝統—拝と拍手— 来場者:のべ1,092名</p>